

やまなみ

山形市立大曾根小学校

学校だより

令和6年1月24日

校長 土井正路

No.14

本校では、学校教育目標「大曾根に誇りをもち、未来を拓く子どもの育成」のもと、次の3つの資質・能力の育成を今年度の重点とし、学校全体で日々教育活動にあたっております。この度、地域・保護者・全校児童からのアンケートを実施し、目標の達成状況や取組みの適切さ等について評価し、今後の改善策等について検討致しました。その結果がまとめましたのでお知らせします。今後とも本校の教育活動に御理解と御協力を賜りますよう、宜しくお願ひいたします。

【学校として育成を目指す資質・能力】

- 身に付けた知識や技能を学習や生活に活用することができる。（知識及び技能）
- 根拠や理由を明確にして、自分の考えを表現することができる。（思考力、判断力、表現力等）
- 自ら学びを調整しながら、粘り強く取り組もうとする。（学びに向かう力・人間性等）:今年度新規

a：よく当てはまる・十分達成している（到達度：80%以上）

b：やや当てはまる・概ね達成している（到達度：50%以上～80%未満）

c：あまり当てはまらない・どちらかというと達成していない（到達度：20%以上～50%未満）

d：全く当てはまらない・ほとんど達成されていない（到達度：20%未満）



R5年度 保護者アンケート

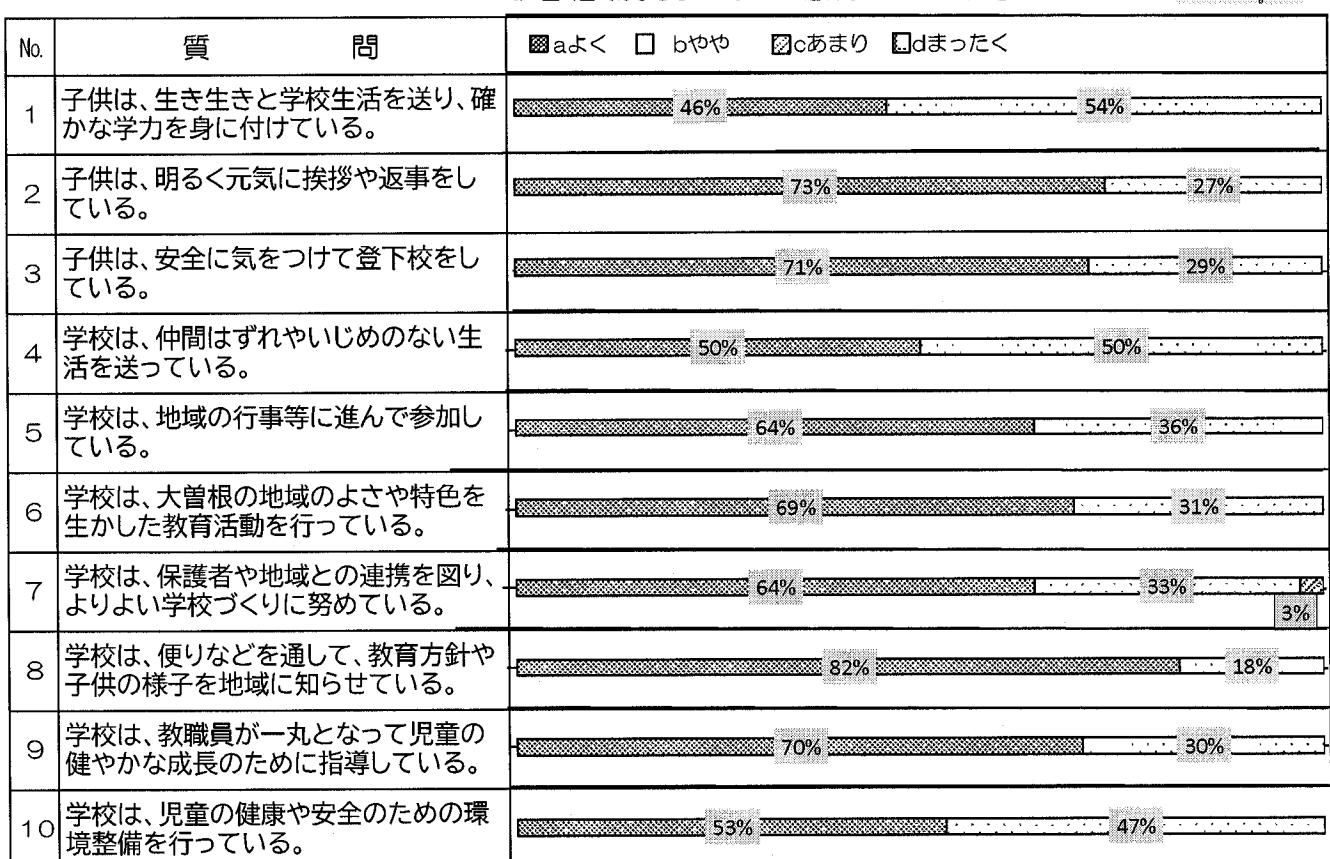
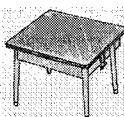


【保護者の皆様からの声】

- ・日程表は出していただきたいです。
→月予定やHPの情報では不十分でしょうか。曜日の日課が変更することは少ないです。また、自立した子どもを育てるためにも自分でメモをとったり、確認したりできることが大事ではないかと考えます。なお、緊急の場合はメールシステムや1人一台端末(タブレット)上の掲示板活用も進んでいきます。
- ・個人面談時、放課後教室を利用できると助かります。
→実施回数には制限があります。(年間160回程度)学校行事等のバランスでどこかに入れるどこかを削る必要が生じます。検討させてください。
- ・学習の基本的ルールを指導してもらって、先生の話や授業が止まつたりしないようにしてほしいかなと思います。
→ご指摘ありがとうございます。学習のルールについては再度指導していきます。ただし、授業スタイルについては、時代とともに変化していることはご理解ください。(一斉指導型の授業は少なくなっています。)
- ・持久走についてですが、苦手な子にとっては保護者から見られるのは辛い子もいると思います。学校内だけで取り組んで欲しいです。→来年度は大会とせず、体育授業の中で行います。
- ・子供達の話をしっかり聞いて下さい。子どもたちのやる気をそぐような言い方があり普段の生活でも子どもたちにそのような発言をしているのかと心配になりました。先生の発言は子どもたちに大きな影響があるので、気をつけていただきたいです。
→大変不愉快な想いをさせてしまい申し訳ありませんでした。再度、教職員間で児童理解・心に寄り添う生徒指導について共通理解を図り、子どもが安心できる環境を作り参ります。また、発達段階に応じた支援の在り方についても再確認いたします。これからも気になることがございましたら遠慮なさらず、学校までご一報ください。
- ・いつもお世話になっております。お陰様で毎日楽しく充実した学校生活をおくることができます。
→ありがとうございます。これからも保護者の皆様、地域の方々とともに「地域とともにある学校」を目指します。

令和5年度 地域アンケート

a:よく当てはまる・十分達成している（到達度：80%以上）
 b:やや当てはまる・概ね達成している（到達度：50%以上～80%未満）
 c:あまり当てはまらない・どちらかというと達成していない（到達度：20%以上～50%未満）
 d:全く当てはまらない・ほとんど達成されていない（到達度：20%未満）



【地域の皆様からの声】

- ・子供たちに自主活動をさせてくれている。先生たちはそれを見守ってくれていると思います。一人一人の個性を生かし、それに対応してくれている姿にやさしさを感じています。
- ・学習発表会での全校生の発表には、各々学年毎に素晴らしいものでした。先生方のまとまりがあると子供たちにも伝わるのですね。放課後の先生方にもお世話になって元気さが一番です。ありがとうございます。
- ・いつも大変お世話になり、ありがとうございます。大曾根の自然環境、地域のマンパワー、学校と一緒に力を合わせて子供たちの未来のため、これからも前進できる私たちでありたいものです。校長先生のリーダーシップでみんなが元気になっています。ありがとうございます。
- ・毎朝子供たちと触れ合いができることで、こちらもパワーを頂いています。4月から見るとどの子も成長を感じられることが多くあり、うれしい限りです。登校時のほかの子に対する声掛けや学校行事において姿勢などいろいろな場面でその様子が見られます。今後とも地域全体で子供たちを見守っていきたいと思います。
- ・里芋畑、土が痩せているのかなとおもいます。
- ・学校での生活(学習やその他の活動を含め)あまり把握できていないのが実情です。
→ぜひ学校ホームページをご覧ください。
- ・近年、児童生徒は不審者から声をかけられたり、連れ去られようとするなど、子供の安全、安心を脅かす事件が各地で発生しています。登下校時の安全安心を守るために、子供が一人になる場面を可能な限りなくし、子供自身が自らを守ることを教えてください。
- ・大雪で除雪により道路幅が狭くなり、自動車事故等が懸念されます。生徒指導と同じく地域と連携し、安全な通学路を確保してください。→地区の皆様方にも協力いただきながら、通学路について点検していきます。もちろん子供たちへの指導も継続して行っていきます。
- ・子供たちの健全な成長にご尽力いただきありがとうございます。当校は小規模校で、長所も短所もありますが、その利点を活かした学校と地域の連携ができると思います。今後ともよろしくお願ひいたします。
- ・4年ぶりの敬老芋煮会開催ありがとうございました。経験者も少なく、子供も少人数になり、色々大変だったことだと思います。子供たちの活動について(スライドの説明等)や全校での歌の発表など期待していた人も多かったようです。次年度開催できるようでしたら、御一考ください。→負担のない方向を模索して参ります。

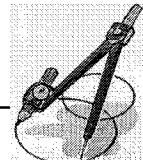
【総合評価の比較】

ただし、アンケートの対象者によって質問内容は変更しています。

・総合評価を以下の基準としました。

・aが50%以上はA
・cd合わせて50%以上はD

・cが20%以上はC
・それ以外はB



No.	質問	保護者		地域		児童	
		R4	R5	R4	R5	R4	R5
1	子供は、身に付けた知識や技能を学習に生かしている。	B	B	—	—	A	B
2	子供は、根拠や理由を明らかにして、自分の考えを表現している。	B	B	—	—	B	B
3	子供は、自ら学習を調整しながら、粘り強く取り組もうとしている。	—	C	—	—	—	B
4	学校は、確かな学力を育成するため、わかる・できる授業を行っている。	B	B	—	—	A	A
5	学校は、読書活動の充実に向けた指導を行っている。	C	C	—	—	A	B
6	学校は、家庭での学習習慣の形成に向けた指導を行っている。	B	B	—	—	—	—
7	学校は、挨拶や返事等、基本的な生活習慣を育てる指導を行っている。	B	B	A	A	A	A
8	学校は、仲間はずれやいじめ等の未然防止に向けた指導を行っている。	B	B	A	A	A	A
9	学校は、体罰によらない、児童の心に寄り添った適切な指導を行っている。(児童:先生にはいろいろなことを相談していますか)	B	B	—	—	B	C
10	学校は、家庭と協力し合い、生活リズムを整える指導を行っている。	B	B	A	A	B	B
11	学校は、児童の体力向上に向けた指導を行っている。	B	B	A	A	A	A
12	学校は、児童の健康や安全のための指導や環境整備を行っている。	B	B	A	A	A	A
13	学校は、大曾根の地域のよさや特色を生かした教育活動を行っている。	B	A	A	A	—	—
14	学校は、保護者や地域との連携を図り、よりよい学校づくりに努めている。	B	B	A	A	—	—
15	学校は、便り等を通して、教育方針や子供の様子を家庭に伝えている。	B	B	A	A	—	—

【アンケートの結果から学ばせていただいたこと・これから取り組んでいくこと】

・全体的には「A そう思う」「B ややそう思う」という肯定的な回答を合わせると、15 項目中 13 項目が 80% を超えており(総合評価の表では B 以上)、概ね学校の取り組みや児童の成長の姿に対してご理解いただいていると考えます。また、児童自身の振り返りも良好といえます。

・育成をめざす資質・能力(項目1,2,3)について、児童、教職員、保護者ともに(よく・やや)当てはまる」と回答した数が 80% を超えた項目は「身に付けた知識・技能を学習や生活に生かしている」でした。しかし「根拠や理由を明らかにして、自分の考えを表現している。」という項目に対し、児童・保護者は 80% 以上が「(よく・やや)当てはまる」と答えているのに対し、教職員の評価は低くなっていました。授業において、教科のことばやこれまで習ったこと等を使って説明させていくことや話し合いやプレゼンテーション、新聞づくり等で他者を意識した活動となるよう、工夫をしていきたいと考えます。今年度新たに設定した「自ら学習を調整しながら、粘り強く取り組もうとする。」については、児童・教職員のほとんどが「(よく・やや)当てはまる」と答えています。しかし、保護者では 30% 弱の方が「あまり当てはまらない」と回答しています。(総合評価 C) 学習を自分で調整していく力、粘り強く向かう力は、本校が力を入れていることもあります。授業はもちろんですが、宿題や家庭学習の在り方についても大曾根小学校としてのスタイルを模索し実践していきます。特に一人一台端末による ICT を利活用しての学習スタイルを推進し、より良い学びとなるようにしていくとともに、保護者・地域の皆様へも機会を捉えて情報をお伝えしたいと思います。

・仲間外れ・いじめの未然防止、子どもに寄り添った指導に関する質問(項目8,9)では児童・保護者、地域ともによい評価をいただいている。目指すべき姿を子供たちと共有しながら教育活動を進めたり、チーム学校として全教職員で情報共有し声掛けを行ったり、見守ったりしている成果と考えます。ただし、児童への質問「先生にはいろいろなことを相談していますか。」では C 評価でした。(40% の児童が「(あまり・まったく)当てはまらない」と回答) 相談するほどの悩みがなくて「C・D」と答えたのか、私たち教職員が相談しにくい環境を作りだしてしまっていたのか、しっかり検証していきたいと思います。さらに学級においては、各担任を中心に相談しやすい雰囲気作りを心がけるとともに、全職員が相談の窓口になれるよう、教育相談に関する見識を高めていきます。

・経営の重点である読書活動についての質問(項目5)では、保護者は C 評価となりました。

【(ab評価)児童:R4 84%→R5 79% 保護者:R4 58%→ R5 79%】

本の読み聞かせ、図書館の運営、本が読みたくなるしきけなどをさらに充実させ、本の楽しさ、面白さを伝えていきます。また、読解の力も高めていけるような学習活動も進めて参ります。

・大曾根の地域の良さや特色を活かした教育活動の展開については、地域・保護者ともにかなり高い評価をいただきました。(ab評価が 100%) 地域学校協働活動が軌道にのってきた成果と考えます。協力いただいた皆様に深く感謝いたします。

・今年度 Web での回答でしたが、90% 近い回答率でした。昨年度は回答率が低かったため、昨年度と単純に比較することはできませんが、下がってしまった項目については全職員で分析をし、学校運営協議会でも話題とし意見をいただきながら次年度の学校運営方針に反映させていきます。

何か気になることがありましたら、いつでもご相談ください。
たくさんの貴重なご意見あいがとうございました。

